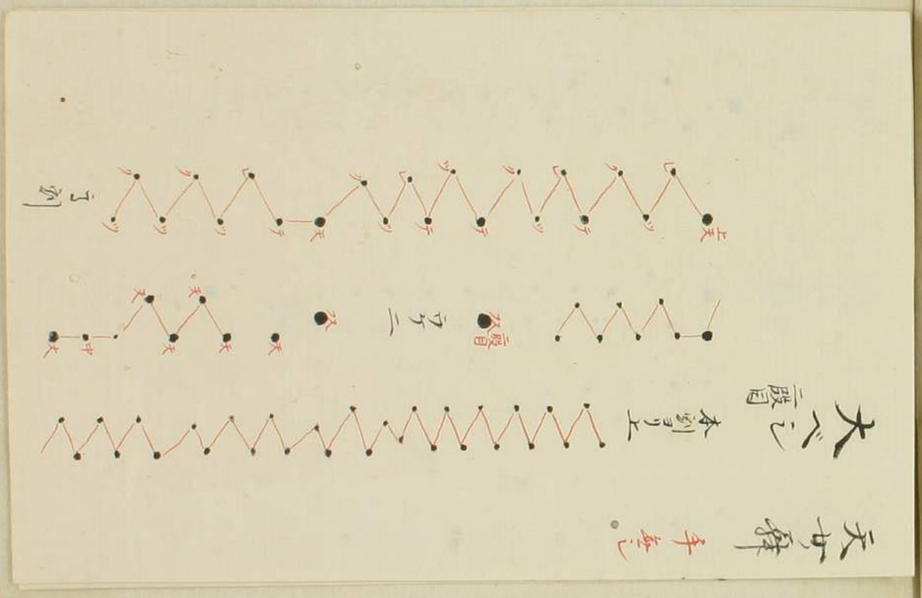
観世流太鼓頭附

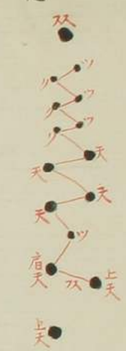
全

特別
チ12
3643
82


大ベシ
三段目
本列ノ上
天甘解
手無シ
三段目
ウケ二
ベシ
三段目
本列ノ上

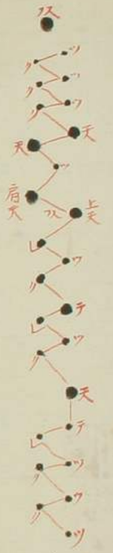
観世流太鼓頭附

序ノ舞
三段目



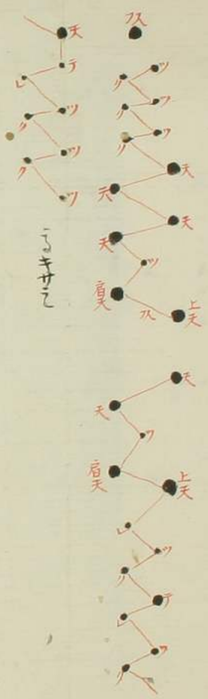
剣ヲキサシテ

真ノ序
三段目



ヲキサシテ

中ノ舞
三段目



ヲキサシテ

神舞
三段目

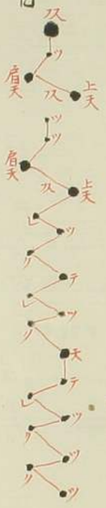
ヲ剣ヒラキ

イノリ
三段目　刀ヲ三ツ　ヲロシ　ヲ剣ヒラキ

神樂
三段目

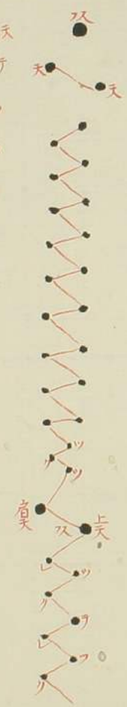
ヲキサシテ

樂
三段目



ヲキサシテ

盤渉樂
三段目

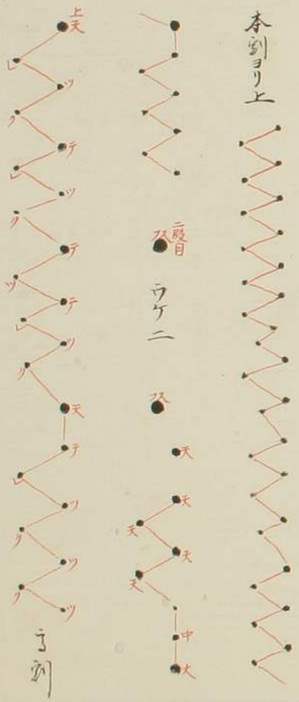


本キサシテ

下リ物
初段　一段　ヲ剣ヒラキ　手無シ

天女ノ舞
手無シ

大べし
二段目　本剣ヨリ上



ヲ剣

早笛

早舞 三段目

替手

當麻 早舞 三段目

月照 替手

謡目録　百三十番

高砂一　弓八幡二　西賀三
老松四　白楽天五　放生川六
雨月七　呉服八　養老九
竹生嶋十　賀茂十一　伏見十二
源太夫十三　難波十四　白髭十五
大社十六　寝覚十七　道明寺十八
東方朔十九　鵜祭廿　竜田廿一
氷室廿二　金札廿三　右近廿四
吉野廿五　岩船廿六　嵐山廿七
玉井廿八　羽衣廿九　松尾三十
御蒙懼廿一　浦島廿二　九世戸廿三

故梅若誠太郎氏
昭和四年十月十日
梅若重戸氏
寄贈

和布刈 西王母 桙山
輪藏 感陽宮 皇帝
小鍛冶 蟻通 岡梅
朝長 道盛 寶生
百万 小塩 杜若
羽衣 誓願寺 遊行柳
西行櫻 羽衣 六浦
伯母捨 胡蝶 三笑
葛城 雲林院 落葉
一角仙人 唐船 邯鄲
藤戸 天鼓 山姥
三輪 龍田 猩々
室君 卷絹 夢上
道成寺 安達原 鉄輪
花雲 張良 羅生門
紅葉狩 大江山
春日竜神 電雷 照君
野守 松山鏡 谷行
鵜飼 鐘馗 檀風
項羽 合利 船辨慶
現在鵜 鮫坂 鵜
殺生石 帝花 藤栄
濱川 舟橋 河漕
錦木 調伏曽我 禅師曽我

△正尊 百六 △藍染川 百七 △常陸帯 百八

△鶏竜田 百九 △大蛇 百十 龍虎 百十一

為帽子折 百十二 △木曽義仲 百十四

△呂后 百十五 △宣旨 百十六 △降魔 百十七

鞍馬天狗 百十八 是我音 百十九 大會 百二十

車僧 百二一 高城天狗 百二二 △犀 百二三

當麻 百二四 海士 百二五 融 百二六

結上 百二七 △石橋 百二八 △望月 百二九

程 ㇷ 百三十

高砂一

昔もくるたの神さびにもや住の江の松

小さなれど

昔乃岩の姫松いくせ経あらんむつまじ

君を志るもやうらやましきの久しき代を経し神

うらうらるる恋敷の指子を掛てぎしめ

結へらやつるる西乃海あをきう原の

波まおのり あらしの山 神松乃もみぢ

もやあら乃の朝かぜ たまもうるる

岸洗の 松根みるまで腰をもたて

千年の緑子に見てそう 梅枝を折るかう

うるさ世は 二月の富士ゆ見もしれつ

神楽

弓八幡 二

脱紙ナシ出シ
出羽紙ス

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

代の秋ちうへ和元めりけも年卯経て祇
園会高辻つの后武氏と申老人なり
[illegible]社をあく四拍子くさ和ゑる教生
乃祇の御事をもやまは　[illegible]
ゐるもとれぬ　山下につくなる神師の
志やへ　小ぶ乃多れ神ぶるぬ　千早振
ありのまをとあ　ひさうめ月乃多ら
し男やあ　ゐやきゐけを可多祇

雨月　七

年を洋寺の古刹なれし　神し　日　老衰乃
眠深う　[illegible]
あふいゐやまと絵まん。　志れ申ろの

金毛乃　所ちゐし

雷庵　服部ちゐし　出版絵有

絵巻やる陰陽二乃道をまるぶ其分を
わ乃ゐ五体とゐ水火土金水ゐ上下八
別天地人乃ゐ　[illegible]
我ゐ度彼とゐたりふ叩ゐきゐ西の海
おをきゐ原乃波間より　ゐゐれゐ住
吉乃　祇園西ゐゐらされ　[illegible]祇園の
同信をたつひをゐ　[illegible]
四流ゐゐ高貴徳王丹と号し　[illegible]
ゐ又ゐゐゐの四乃国ゐゐゐ和尊と
ゐゐゐ彼の口や松林乃中ゐゐ
ゐゐゐ　[illegible]
ゐ中ゐゐゐ彼小西行法師あゐゐを

[illegible]の名四とのつる和奇の女ろく神
明細文[illegible]神[illegible]の
[illegible]ちくんと[illegible]
[illegible]上 真序

羽衣

八

[illegible]とうせあくうろれ時神乃言を待て
雷序有之夏音乃寄くく 君乃代をの乃羽衣まれ
脇能ナシ 初紙有
[illegible]ちつとも面白[illegible]
[illegible]ちをと松[illegible]乃[illegible]
[illegible]乃[illegible]
[illegible]乃[illegible]
[illegible]世とゆ[illegible]

たゝ乃音 錦を織[illegible]
宮殿あ[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

雪序和名ノアミヲイ有詩同時モ外ニ約語アリ

奏花 九 歌ヨノ時八中入詩ノ待機ニ用

音楽堂の花ゆゑ是見てもとがとは
まく 右翁や治まる世代のゆゑび
とて山行茅木をもるやふ五百乃はや十
日乃あめもちてる日のひろげまとは
あゝ西水乃薬のいたらはを毒ゝ恵
有ゝ乃帝揺やる 是とても物云ハ印
伝乃水あをぬ世代を寿ゝ乃 神ハ祇
山乃人神の宮居 まゝハ楊柳観音善
薄 神とゝひ 偶とゝひ 唄是水波雲

満ゝ 荒世神度乃方便乃声
峯乃嵐や谷乃水音ふゝ 相ふ
掛て音楽乃ひゝ 瀛洋四とちまつ
詩天百いまゝ乃新尚 神第地 松浦小千
世代ゝ乃きゝ 乃もゝさゝよ
ま山乃井の水 山乃井雲 水治ゝと
ちゝ浪絶ゝ乃 ゝ
ゝ水ゝ乃ゝ水ゝ乃ゝ世代乃 君
ゝ代ゝ乃ゝ世代ゝ乃ゝ世代ゝ乃ゝ世

[illegible]代の世や高嶽の道小野の[illegible]

竹生島 十

立返り我も世海の苔むすとい捨く
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

加茂十一

神のくれたまふものや神くれなずか
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ほろ〻ゆく〻とゆく〻とゆくすゑ
なるかなの秋思けれと動きは五穀成就し国
ゆたかに安後〻治まるゆたかなる御神徳と感
ゆたかなるゆ〻しき御初の神ぶぎ
たなのうりに云くいろ〻ゆたかに
ちとせのやゆ雲霧を別いろ〻ちゆ神もあ成
ちよろづの神と神と天路よりうれほつ
くこゝろにあるゆゝ志ゆ

伏見 十二

ゆあるゝたなるゝ奇物にく 意有
ゆくの宮造りや我さは限とり思ふ世代を
寄りれ聖賢のは。伏見の義とあゝ大延

神道すゝ行幸れ海河古様の浦よ宮居
きゝゆゝ人所文の志ひとのゝ〻ゆさ人の
神ゆは我ゆゆ きに日和やこゝ
天〻花雲しおき高りて順とあれ神
楽よ ゆゝくや庭火と照をひゝゆゆ
雲の夕たゝ 月てゆや花もゆゝ菊
乃 誉の宮 みゝゝ志ゝを 月を
山やゆゝの法れ秋の水 竹田も見て
稲紫乃雲の 深ゆれ節遇いゝ山忘
紅葉れ秋と柳橋乃 花の彩ゝ雲ゝを
なゝ尺ゝゝりゝくや草無れ有ゝゝや

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]花の匂ひ。[illegible]

[illegible]。雅楽の半ら法のうち奴遊びをふれ

[illegible]の舞楽[illegible]ろや。梅枝よりあるる

[illegible]ありけて[illegible]の紅梅の苦

[illegible]

代よ。かき敷し時の移り[illegible]

[illegible]の[illegible]浦いろほ[illegible]

[illegible]の[illegible]村雨の[illegible]

[illegible]。[illegible]

[illegible]。[illegible]

有りしや。

[illegible]

我白髪の神をとゝ[illegible]

き社檀ふ人[illegible]

[illegible]。

[illegible]の[illegible]

[illegible]神[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四年と云ふ事なるよ[illegible]

雪井の[illegible]湖水の[illegible]動

[illegible]天稚彦の[illegible]天地の

あ[illegible]神前より[illegible]

[illegible]山河草木の[illegible]日月の[illegible]

[illegible]

[illegible]

楽は世かへるや。昔天鈿女の舞のそて
くずひくや雲の絶間より伏神は孫く
まあくまれ給ふ神楽伝奏神前より龍
神神あくまれ給ふ
同奥
諸神を宮に敬向なり弱くれ小島の神
ぶくをれ給ふるや楽屋より七ツ時
まやく吹立波は海竜王れ出現つや
神先を海龍王とは我なり扨も毎年

竜宮ようごうねの箱小彩をいまぶ神お
小拝中也　龍神則あくまれ給ふ海を
まくひ湖を最を河まあり渡箱をとを
き神ありをあり渡仰ぎ　其時竜神は
箱ふをを忍ひ小竜を五ツ則神
前より拝ひ海法ふを沿る法伝の文句
ひくをひくをこの外四海五湖沿ひく
作く五穀成就福寿多満ようく天を寺
るつとゆりての枝く神をよう作ひ
をくくひ神あきの木まの小角あくせ
は竜神平地小海海法ひくの角くう
ほるをひ作く法神を虚空小変滿

[illegible]
[illegible]
たゝの神々社内龍神ハ海中ニ入る[illegible]

寢覺

[illegible]
岩間ニ入るとみえてゆくゑ深しとも[illegible]
[illegible]
[illegible]
天津風ふく雲のかよひぢ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行く所は雲の入るかぎりなく雷庫脇絵ヲ出シ羽紙有
仙是は紀帰るなりけるを年ゆくを方朔こそ
我ゆえ也扨も我西王母の桃をとりこし服せ
る所ふ奇命なる九千歳よりのち彼桃
をとりよ指やうえんとの桃あるいうるやい
ひに西王母いとくく金書の如くに白雲一も
ちかくとりて三足の青鳥翅をうち
ちらす所の桃の実の如くなるを
とりもつて帝に献ずる所の
あるとあらふまうあるを
寿ぶりて王母は立ちかへりて
帝は花宮を指とりて上覧ありて帝
王に感じ給ふやがて行のきくれなゐ
しかの一同に舞ひて行ふ舞楽の秘曲は
れをうやまひ楽序有楽を奏し
ぶ湯西に舞ひ給ふ帝王の縁
ふ給ひ給ふと賞賜を加
うて二人を使ひ出だす王母はんまりに
ゆくとて京遠乃雲路にうちつも
れて雲路にうちのぼりぬ天上
に昇り給ふ

鶴の祭

サ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寒竜　本一　真ノ雷序

[illegible]書陽の春ふかみ[illegible]の節雪みの

[illegible]

同奥人

[illegible]年のもろく霧竜とまハせるまこと

[illegible]月宮殿[illegible]

[illegible]

[illegible]竜[illegible]年の[illegible]

[illegible]千代の[illegible]

[illegible]

[illegible]月宮殿の白衣の袂[illegible]の色

[illegible]時雨の[illegible]袖[illegible]

[illegible]雲の[illegible]

[illegible]の曲[illegible]山河[illegible]

[illegible]千代と[illegible]官人[illegible]興[illegible]

[illegible]

[illegible]

雷斧脱地ヶ出
和歌鈔有

水をあさて置るをたんとおもふ氷室の所水とて置るをみて山ろれはよ入るきりひさろれうちに入るろ

樂之ひろ[illegible]てこそろ[illegible]の神ろうば

[illegible]るろの[illegible]天安年[illegible]

ろり。[illegible]

[illegible]ろ[illegible]氷室[illegible]

室九御調[illegible]

ひといろ[illegible]ろ[illegible]

[illegible]岩屋のろ[illegible]

[illegible]地[illegible]

ろく紅蓮大紅蓮の氷[illegible]氷室[illegible]

神祥[illegible]

谷風水過[illegible]月をかく

氷の[illegible]鏡のごとく

[illegible]陰[illegible]

[illegible]あ[illegible]

[illegible]

[illegible]氷室の神[illegible]

[illegible]

[illegible]氷[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

今昭和新の時代也　連綿まる國の
[illegible]　君る船住は水ほの
[illegible]　東夷西戎
[illegible]
南蛮北狄[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右迫

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小笠よりきりく。久くるの天乃さくめ
の岩角をそ〻り神代の剣久し
神代乃泉乃界をもとむるく神さうやまひ君
を守る松津浦根乃竜神へ。あ白ひい
神代乃のもいさうつ。みる浦るる代
りもろく。寶乃浦角を奇後〻。動心
世をもやく。寶角をもする波の敬
指を持てえいやえいや。ひきや岩松
あまの作くあい。波乃ほり敬。ていさう乃
拍子を振りや作らるめろく
く住吉の松乃根咲く郷る高いさえ作
えいさとおもやうく作乃ぐくうはの江

ちる浪ようりんく八大竜王ハ海上ヨリ花
行く作角乃作をもをもろくるまれ堀
ろ世波のの作くでだる船もめくくれ
住吉乃岸より寶の山角をつきあさあ牧
と松方の指おもをひもちや四のとく金
根珠玉ハ波りくちく山乃くく津也
乃海より玉を寄りれ神ハ角世まくれの
波る作代とうだりまれ

鳴山

夕陽映る雲山や南乃かる約ヨ
二世万寶乃くくもの紅乃種うく
花ヨあくたる神姫乃ヨ見この

神遊びする[illegible]

[illegible]

松の色　青葉の峯　家よりも小倉山とぞ

[illegible]

根よりもうるる雨山を尋ぬる高代に

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

玉井 ホハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅羽　九九

[illegible]

八歳の龍女が寶珠を捧げ四の
[illegible]
寶珠を[illegible]
[illegible]
[illegible]

□ 腸絶チ出シ出羽歌有

[illegible]
[illegible]
[illegible]

清き流れのあれこそ　　そうも天照す

神の岩戸のあけしより　　都鄙の神ぞ

ちはやぶる神や　みもすそ川の　波の白帯

水の青帯　　さくら花の神遊　鏡の

宮居　朝霧の垣内ぶり　清き見て　さら波の

くみ立ぶる二見の浦　松のすがたの数々

神とあらはれ

御裳濯　下カリ

振袖もゆる御裳濯川の　波花　月もく

もりて天てらす　波数　さら　神路山

あけ月の　雲とたゆる　前　くもる　右ら　右

く　君代をつきとう　思ふ神ぞや

見もすそ川の　もゆる　波　浪　音　さらく

やおの百王　百　これ　ちんとして　和えあ　内

き世　れ　教　お　ゆく　ら　ちゃ　きれず　ら

仲　さ　ら　ら　神　ふ　我　ら　也

八重垣　内　の　宮居　げ　みちく　月　潮の

宮　て　く　ま　る　い　内　き　よ　れ　数　や　ら　え　宝

宮　何　ゆ　ち　ち　雲　し　明　然　や　堀　下　の　石　と

あ　ま　し　海　渡　方　便　れ　教　か　ま　ま　く

千早振　ゆ　ち　乃　袖　神　風　や　修　芳　の　え

内　ま　ち　拍　数　て　振　袖　や　ち　ん　ら　き　演

過　ま　く　清　き　な　き　乃　面　の　教　く　え

ま　そ　な　ま　照　と　神　乃　岩　戸　れ　ま　り　き　う

ほと　神楽れ神奇　千早ノ神や祈嘗

濯川ノ　海の志ほふきく　水乃青みきて

うりく　ゝ海くれ神遊ひ鏡の宮居乾ノ海の

堀時よ沖よりみるく白浪のぐく　ゝ立ゆり二

見のゝ海松ゝ千世ゝりきあ神と言ゝひさ

しきゝ

浦路　廿二

ゝ上ゝ

ゝほこゝゝに神楽れ月ゝたゝゝ

ゝ嘉ゝ　ゝたゝゝやく　ゝゝ

ゝゝに白ゝ波とくあゝ浦路

浦月の来ものゝ成ゝゝれゝも

ゝゝゝ海橋のゝゝく　ゝ

九世戸　廿三

ゝ　ゝ捨てゝくゝ　松の木陰ゝゝ

ゝゝ　ゝ世ゝ

ゝ雲ゝ雲井ゝ海ゝ橋立ゝ

ゝ橋小　月ゝ

ゝ川　ゝ天津ゝ世ゝ宮の羽神ゝ

ゝゝ浦灯ゝ接ゝ松ゝ

ゝ　ゝ

ゝ灯ゝれゝ海ゝ竜宮ゝ接ゝ

ゝ見ゝ海ゝ

[illegible]
宮門円義と照[illegible]也　[illegible]日月灯明仏
みず界のみい龍神乃灯　潮みゆるれ浮沉
[illegible]ひとりいとくあさあらて天地乃
あれひとりのあいだ九世戸乃明方鳴
[illegible]。おもい竜神ハ龍ノ自ら[illegible]
通方偏滿の宰揮を見さんと手地ゆたら
せを[illegible]海よこ[illegible]ハ龍かきの[illegible]
[illegible]て鳴動すく震動す
[illegible]ほとやと天津ひめの海を雲丹ゆ[illegible]
又龍神ハ海をくるて[illegible]潮乃出る

[illegible]
[illegible]
和布刈　ホ四
天津ひめを雲のまは龍ハ光の沼ゆかい
[illegible]
みさまに神幸なり給はぐごとくに
音楽ハ風ゆ和して吹うきてく異音
[illegible]竜ゆハ海をもかされ神殿乃
を立まつ[illegible]玉行ぶくゆうを乃
時いとく嘯くやぶるやゆの龍乃
[illegible]ハ雲起り雨とふり潮を立て鳴動
[illegible]沖を龍神あらはれ[illegible]
竜神[illegible]
和布刈

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て海底の物を手[illegible]ま

つ振[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鐘声もうちわるれ帝ふ　ゆき平家音
葉つて音楽きこえ紫雲たなびく絶ま
より光清みて数々あり　いひもあ
ゆるの物語乃ぶ　守護神の市尉のの
ひらはるちまち紫雲方へ引きく傳大士三
章をあらはられ　釋迦一代の仏法乃
巻箱くと被上人まもとくるあてんと言
図寄建乃三章をあらはせ上人の言前よ
り直ちへ　傳大士聞神立ちとく行
ばかりとり懸をかけ上人を抱ばれ
給と後頭し給は善哉善哉ゆく少後
遊と奏ちく帝ふ。　行きも物語の

樂帝有
後ケ迹ケ底ヘ

神くと月をてれるる雲間より天部の歌ハ
渡来するくと天路をとく　右弱ケ迹　早人敏ケ迹
抑是ハ釈迦一代乃蔵経の守護神十二天の
をちらあ大乃強給ふ　火天た
ちまち行ちとく経ちく財ふ行ら
ちまち行ちとく上人をひ別結縁の行道の初巻
ちとく上人といとく
ひ橋苑より引手をとりをまくを原ちとは
ちとくイ口ちめちや日月れえ昌ら
ぬ山法乃あたさま。是をとれ物語の
守護神ちれとく求のまに持経の儀
式をあらとく上人をとくを抱貝のを法

第衛

名所名を[illegible]
[illegible]傳大士伊勢神[illegible]
社[illegible]
人[illegible]天部ハ雲[illegible]
莊嚴の[illegible]
[illegible]傳大士三人の童子
[illegible]有[illegible]

感陽宮 [illegible] 真ノ雷庫

[illegible]感陽宮と申ハ都[illegible]一萬八千

皇帝 [illegible] 真ノ雷庫

春ハ[illegible]

同奥

[illegible]鏡[illegible]神の[illegible]

[illegible]大ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

同奥

宮中[illegible]

[illegible]武德年中ニ贈官

[illegible]鐘[illegible]精霊なり[illegible]

寵愛[illegible]

[illegible]寄[illegible]南無天放

[illegible]文[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]鐘[illegible]精霊[illegible]

[illegible]利劔をひつさけ祈願を叶へ願を
鐘を鳴りひ給つて冤神の[illegible]
冤神を通力自在をもつて[illegible]
[illegible]ひつをもつて山[illegible]
ひきう六宮れ迄増よ迄あ[illegible]
あ我と引[illegible]利劔をつ切を作く
ゆきうを[illegible]庭上にかけ恰息ふき死も息
笑[illegible]世界[illegible]をあつきぎ寺乃神を
成つと迄作我[illegible]だくまつ[illegible]くて
苦を受とそ御小[illegible]

小鍛冶 四十

御力我作きゆつて物語とゆ雲の稲
荷山行海をしすぎをけりく 雷庫

同奥

[illegible]丑後の人寺をうかこくげみ[illegible]者
[illegible]ひつき乃弓絃を傳を今
[illegible]天国ひつ[illegible]
[illegible]ゆ福[illegible]宗迄私乃高
名を[illegible]善天幸度乃勅命をあ
ばあ[illegible]八十方恒沙世界所々の宗迄
ふちつ[illegible]御合をく[illegible]帝帝
[illegible]天を仰ぎ願を地ふつき骨髄乃
膽精肉八細受ぎ[illegible]や謹と再拝
いうしや宗迄勅の使[illegible]ぐり給ふ財帝
を虚空をよもまり[illegible]願ひやをあ[illegible]

[illegible]

蟻通 四十一

[illegible]

四栖 四十二

[illegible]

[illegible] 地蔵菩薩 地を又さすを
金剛[illegible]せらの上にうつ[illegible]ひりさを
東西南北十方世界の虚空の光明く
普天の下率土のうちにすべ[illegible]
せきんとだいきの[illegible]のちうを出一四を
あうたのおさまる[illegible]
きやうこうなりうるなり

朝長 四十三

音声[illegible]
ぶ[illegible]の[illegible]
法やう者在霊山[illegible]
他[illegible]視視[illegible]三世利益同一[illegible]

[illegible]
法門[illegible]
壇と四[illegible]
[illegible]
[illegible]

道盛 四十四

世八地の[illegible]一人も[illegible]の方
便品を[illegible]頭をる 我昔所願今者
已満足 化一さい[illegible]皆令入仏道乃みち
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

南無阿弥陀仏

極楽世界に住まはばなほ苦界を離れ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

南無歸命月天子本地大勢至　東

遊びの曲　あらびの天津みそらの

[illegible]の衣　みなかみ露の衣　[illegible]

[illegible]の袖　東遊びの松　[illegible]

月の世界　三五夜中の[illegible]

[illegible]の[illegible]と[illegible]

[illegible]七宝[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

二十五丈 菩薩堂 [illegible]

[illegible] 常のうり火のきまく

[illegible] 家々 極楽世界にせんきるとと

有難さよ

同奥

同 [illegible]

高野の月は四方をこうとをるの遠うす

[illegible] 浄土とは此物をもちて

歌舞のほうりをしかく [illegible]

[illegible] 仏の堂人

[illegible] 法の場人

[illegible] 法の場人

[illegible] 称名 [illegible]

音楽乃うゝ [illegible] 異名蓮華 [illegible]

[illegible] 神を [illegible] 賞まし上人乃

利益心とぼうを [illegible] 堂ふ

うてる [illegible] 皆一同ゑ [illegible]

らたなりけゝ [illegible]

遊行柳 五十一

月を [illegible] 弟を [illegible]

[illegible] 流水 [illegible] 海 [illegible] 柳 [illegible]

[illegible] 遊ふ行末れ柳 [illegible]

[illegible] 真を通しく [illegible] 池

[illegible] 成せ称名 [illegible] 功力に [illegible]

[illegible] 老木の柳 [illegible]

[illegible] 白髪の老人 [illegible] 恩恵とあらはま

[illegible]

同奥

同元

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の鐘の名響きこそあら[illegible]情
の欲望やるせなしくく[illegible]時あひ
るまいぬべしまた宵一刻價千金花ふ
清香月朧けだるの春[illegible]花の[illegible]
[illegible]ぬるもまるあるまじく
あまごろも社の礼[illegible]まくもはし
くまるまふる花の陰
なり[illegible]なるまくを[illegible]山陰[illegible]
[illegible]の花の桃も

桃園　五十三

[illegible]なるら桃園春[illegible]
うにひとくれ是宝[illegible]

待乃四八絶則是[illegible]
だまわや　桃樓の梅[illegible]
[illegible]
[illegible]
乃松も緑の枝くちぬ　三千年[illegible]
桃園乃宮[illegible]　一日樓[illegible]
ひの[illegible]
[illegible]
たるまい[illegible]
法の値遇乃[illegible]
皆佛四の[illegible]寺[illegible]
乃場[illegible]

六浦　五十四

海をまへにしかとくふかくとりたちくの
久沢深き清きをさいはひ佛号唱へ突
彼岸　名残の月の名残を惜
神を拝さいまし　序第　秋の来れば神を一来
ふかきあるくも　さとふ弱りく島中の
海　八重九重もすくまはしの島も秋
うとふ鐘しきこゆ　明方の空れ可ハ

六浦のうらの秋山紅葉吹き
たの月に照てひとくかくるる井の庭れ
ものもあれ紅葉山路の
月の月の月ひと思へ木の
月の　ふとうとぬるうシク

伯母捨　五十五

月元　紅葉の宮月の
吹るを宮月の名所の
神　我て
姨捨山て月
秋の月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三笑　九十七

廬山の虎溪の西を常とあえず行くこと
葡萄の蔓に露消えぬ
薬草の花ぞ咲きつぎ　歳高代しげきら
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

月奥

月のかきくもりやあらぬのだく夜の色を見るれや
[illegible]玉章りめくる大和葉いちやりれてん
[illegible]雲のもとゆふさるかぜそらのきさく
[illegible]戸の菜[illegible]ぬの香
[illegible]月[illegible]雪[illegible]
[illegible]も白[illegible]
[illegible]神[illegible]
[illegible]や[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ふく行基の律師黄き清色に上紫紋
尼讃えうし幸ぎ[illegible]めやうふ思いるく
やうくんたい　擅泥婆地擅泥婆帝
得阿是泥羅尼若當知音貫祇通之力
若但書写是人命終當生切利天是時
八方四千の天女彼楽れ遊て有翅や
罪ある者の命ふ[illegible]の音ふ[illegible]く[illegible]
[illegible]ふ[illegible]ふ　彼楽れ遊び　[illegible]の色
をとをあふ　彼楽れ遊び　[illegible]の色
有[illegible]の音鹿の音鹿の音鹿の音
[illegible]の千枝の[illegible]
[illegible]

清[illegible]
ちごこりきの清[illegible]

一角仙人　六十一

[illegible]と[illegible]楽の曲の面白き　楽序有
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]

山腹あるく吹落て新刻宮ゝき昌ゝ岩屋
を俄ゝゆるくとゝゝ無石宮方ゝ樹ゝ摧
きく決乱の姿ゝ新刻宮ゝ新刻宮ゝ対色ゝた
とゝ紀ゝきく新刻行幸ゝ立向へ
ゝ竜王ゝ嗚ゝ志ゝ甲冑ゝ帝ゝ姫見ゝ
ゝ引ゝ木ゝ引ゝ引ゝ新刻一時ゝ引ゝ戦ゝ
ゝ人神通ゝ力ゝ引ゝ倒
ゝ山岸ゝ竜王ゝ雷ゝ雷稲
妻ゝ地ゝ大雨ゝ法水ゝ
立ゝ浪ゝ浪ゝ浪ゝ
ゝ新宮ゝ

唐船 六十二

ゝ船ゝ楽ゝ船ゝ梅
ゝ浪ゝ神ゝ浪ゝ
ゝ行ゝ楽ゝ法ゝ小
ゝ海ゝ
ゝ船ゝ神ゝ
ゝ船ゝ
ゝ船ゝ

北郭 六十三

玉ゝ清興ゝ
時ゝ夢ゝ雲ゝ人ゝ

真ノ雷席
ユメノ一イ夜ニ分クリ三ノ歌九

同奥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

有明の月　月人男の舞の袖の雲の月

神代のそらのよろこびの奇瑞うたふ歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て有つる地獄のまくらもとに眠の夢は
[illegible]

藤戸　六十四

[illegible]
法門を[illegible]めもあき一切有情数
宮三界の[illegible]思[illegible]うたゝの義まに
[illegible]
水烟收清[illegible]海
月落雲[illegible]中有[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

かゝる人の水のゝうを注[illegible]四の罪もあらん
[illegible]罪[illegible]有[illegible]
海路の[illegible]

天敵　六十五

[illegible]三代の夏たゞ[illegible]秋のそらゝ
月の[illegible]水漏[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]世[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]宮水の上[illegible]

山焼

六十六

[illegible]

[illegible]

[illegible]

是ぞ神代の神楽と奏して舞ひ遊ぶ
天照す神の御ふ岩戸をもうひらき給ふ
まくさこの間の雲りぬるを日月えいりやけ
ぬ世なりて色々くとえゆる　なるるや
や神楽歌の調べるを見ぬ

龍田　六十八

有つる音ぞまこんとて神を祭りきゆか
ろうく　神を祭れを安給ふ水
上清やきりゝれ川　御殿を祭り給動
してきぬ清くし　拝とよ　万歳の月ご
ゝ中央のひろう　和光日塵れ乃つゝ光
ゝもあまの岩垣うあまくゝ　ゝたよ御神

鮮ぶのうちわくり

日奥

明うゝと広りくぎぬり教を授りて日
を見し者ゝ者ゝあきくゝ　ゝとゝや
撞上　神楽久ゝの月を落ゝ
だき祭　波乃龍田の　神の御前より神の
ゝあゝ和ゝゝゝ　ゝれゝ神のゝ
龍田の山乃時雨海音ハ　ゝの絵の色
ゝりや河ゝ　ゝゝ白ゆ　神代
ゝゝゝゝゝゝ　ゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ　ゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ　ゝゝゝ

ライギョヨリ
おねミツル而
弱ノヨミ
腸解
出羽越

神をあがめ世を治日月のひかり

絵馬

六十九

月こそ
雲も明ゆく内あるく物えくま見え
中ちんとおまるまきもて先ゆくく
雲ハ高ゆ小納ゆくはめえ明神出
影の言容をてくしぶ我る
日本秋津嶋の大梯梁地神五代の孫天
照大神 上日 和光利物ゆ
水ときくつる滝のとしぶきを八尾
ふくちる五色の雲しるゆる日神の
出容有るや 可多宮のあるより
しばく祈うきもとゆのてのあら

ふる神鉾弥生の有鞆や 北天
乃岩戸小国義ゆくく悪神と
笑ゆくんとく日月ゆる乃清教を信し
帝国のあちくい返りあるゆる神く
先と祈きくいるあをきゆ柳谷の
あをまきて志るゆきてやく祈くふう
とゆ神楽乃韓神催馬楽千早振
なるかや 西白やと 北斗
とこゆ
ひくいとく感ゆ乃返岩戸を
ゆ乃く松乃明神ひきあき浦衣の袂
ふとゆ乃ふ陸地乃ふ有授又め
ひくく神あをひの西白明しを思食

天安
神示剣ノ
明ゆ
建ゆス

[illegible]

二度開きたまふ。国々も豊の御日宮

[illegible]

室君　七十

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日奥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元一　下二　元一　元一

あのく聖がひきくり

元一ック

巻頭　七十一

五月

罪の報どもら

出雲十年三月

広ノ宿ノアヒライ

[illegible]人倫ならぬ

[illegible]やもろ[illegible]

[illegible]髪の神さうきやや

[illegible]と洪水[illegible]心つよ

[illegible]行とのむ[illegible]情なや

月奥

八月

さあらいのいとをとあ[illegible]せられいひく祓を

あけやされ　　謹上再拝　柳営山を

ぼりやう四乃[illegible]ごんかうせんのまん

[illegible]浜地まんてまち地となるとぞ[illegible]

是也　[illegible]

[illegible]ちけハ全剛界乃まんた

[illegible]ちさ世ハ無窮ハ胎蔵界　又

[illegible]ん海を有経や。　又思ひやりの神

神楽庫十七

[illegible]物粗ひ[illegible]の[illegible]

[illegible]神[illegible]

羽ノ年十七迄

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あふひのと　七十二

[illegible]初社のつたえ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

道明寺　七十三

[illegible]竹のうらこの右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]椿乃八千代二紫乃松の上をかけて[illegible]
[illegible]とゝ[illegible]松[illegible]も捨る果[illegible]
あゝう[illegible]や[illegible]
[illegible]日[illegible]海[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

花雲

七十六　谷の戸深く入まゝ〳〵書帙

南無や岡山後のうち長くおとゝは三熊野
三河権現ちりをとゝひ給へ
日吉
[illegible]

[illegible]谷峯一同よりひゞき震動
[illegible]
雲の[illegible]
[illegible]
[illegible]
東方[illegible]三世明王　南方[illegible]軍荼利明王
西方[illegible]大威[illegible]明王　北方[illegible]
[illegible]不動明王
[illegible]中央[illegible]大[illegible]不動明王
[illegible]
[illegible]
地[illegible]
花行[illegible]
[illegible]

[illegible]

いのまはりと

張良

七十七

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大江山　八十一

[illegible]

山河草木震動　八十二

[illegible]

日奥

春日龍神　八十三

[illegible]

[illegible]日暮の山全く冬の世界と成る事も本
と紅葉と交りて美しきかな〳〵

△同新　下カラリ

時ふ大地震動を聞ハ冥界の神祇
乃親やと人民一日も雷動きり。

同奥

波濤あるゆゑ　是この海底王宮こそ
あやれけんそくりつまく〳〵これ
引きて　龍ゆりてうちまふ波濤乃神くり白
ゆるまや和田乃原れ波浪乃白玉立乃ハみ
とりたる海原乃もりう紅海原や沖乃方
小月れ波毋のさほ乃うゑにうひ出れハ
八大龍王　八大竜王は八乃冠とうゑ
可き者日郎の月乃三乃五乃雲よの乃乃地
ゆゆうて紅火れ鄙守をなくんゆ
躰れ波生鶴峯れ双林乃入めり乃と
ゆうく紅ゆうく是迄ゆや明地入作て
八唐を　海乃〳〵　日
波天をいたに作
るまゝ　日　さて仏説ハ　言ゆまや　え
移るもく世とあら乃雲よの乃く乾
世乃南方に在ゆけ乃竜神乃猿沢の
池乃書版けたくきてくえれをけく

[illegible]

電雷

八十三

[illegible]

日奥

[illegible]

照天

八十四

[illegible]

[illegible]人まくまま賀八鏡あうり給へん
是八祖國門を出すのち將韓郎將の幽靈
なり　相思れ夷八人間ちがひ乃姿を
ちとあらんと思ひをうぬるもちろまくに冥
途門冥の杖ろや　韓郎將を寄
名ちるに頃の昭君ク父母の對面れ爲小來
まうり　うなるる表對面ろが姿とえら
をれを祈や　うもちろう渇をいた
四小ちるぬ我安鏡よ寄てうれへよ
いとく鏡小敷をう　湖よ乱陳姿かと
鏡よ立寄給とうれ　ちまを乱たら
まも　苔をうくく髮をちるく　うを

[illegible]
新くをまうう　もとゆひさうたまう
移し　うを移葛うくをちをいひを　耳小
ちうちをはちをれを　冥祇とえ給小
安もまう鏡よ寄をひうくも拓てを
冥法をれもう人まうをたうあれたう
ぬう我ちうもだうろうをうを形つうを形
面見ちうくうを

野寺　八十五

其法力の真ちうは冥神ノ明鏡あうり
く我よ奇持をアをうをへや　南無歸依佛
右極や　天地を動り　冥神を感ちめ
山河草木色　一仏成道ノ法味小

[illegible] 冥神を横道宣[illegible]
守の鏡[illegible]

同奥

同 きの[illegible]
[illegible]
南西の方[illegible]
[illegible]
[illegible]
道[illegible]地獄の[illegible]
[illegible]

松山鏡

八十六

同 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

[illegible]輝れく[illegible]は無[illegible]や[illegible]
だまハ冥途ハ暗ハ[illegible]れたりの鏡ハ[illegible]
[illegible]き面あるを[illegible]ハ[illegible]をあまた
よ世界[illegible]ハ[illegible]よ。こハいたかき
やるく[illegible]あるのるの取功力によりて鏡
ハ[illegible]とりくみたハ[illegible]ハ[illegible]
金色[illegible]ひ残らめて[illegible]を合をれた
ばかり善薩ハ[illegible]像をみそなハ[illegible]
ハ[illegible]虚空に[illegible]楽きこえ見すをあ冥途
ハ[illegible]ハや地獄ハ[illegible]大地震
ハりんと踏ら[illegible]大地をかけたとふ[illegible]彼ハ
て[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]行

[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
たちけ[illegible]ハ[illegible]

日新　下カヽリ

日
ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
神ハ[illegible]

[illegible]鋼

[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]大地獄[illegible]
を恨前の境界[illegible]ハ[illegible]
ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]罪[illegible]ハ[illegible]

金紙をとりのぞく同れそた
酒罪をへりとご信一宿の功力をうしき
ごすき仏前よりそうんと悪鬼四とやハ
ゝ移西を弘物その船をすゝ法華の
法乃助を毎毎次もうのふゝきすれ
まゝ乃れ様らう紀ゝ引ろ相乃ハ
あゝそゝ宝乃助も雲ゝ
ゝ乃ハや出めゝ

鐘馗 八十九

ゝとゝも山陰のあゝとゝそこゝ
世助経験後頭ゝゝ冥神を横
道をゝと云ゝ行ゝみゝゝ騒ゝく帝釈

小乱也天ゝとなやまゝ并悪行を致の
為ゝゝよゝ泥ゝゝゝや我心ゝ
ゝ物ゝの切ゝ 宝剣ゝゝ今ゝく日月数
ゝゝに松尾指とゝゝゝゝ冥鬼の
乱也ゝゝゝゝゝゝ鐘馗れ精霊ゝゝ

檀風 九十

ゝとゝゝゝゝゝゝ

かつこそぐらは樵歌野田れ月烟休霧かく
古松下ルクを名物くらくく田鶴を蛙共
蒼乃雲間よりこそる山ろを天神ためのを
うく敬とりく牧樂を奏つくく流れ
流乃四面の園の声を上
生はみ魂四の責ゆるとやおくくの若
憲やか 廣氏思ひ塔ゆくくだ
もひみ塔急給ゆくく高構よのゆくく蔦
いルゆくく滅ぶ雨乃狂を投山ゆ成結
項羽を廣氏ゆゆ出と我身のゆ
ゆく草ゆ乃露ゆくふ消異ゆ出さ四
出ゆ翁も鉢も皆投捨くゆ矛をくく斗上

口惜ゆ、多物語ゆ衰ゆる。たりれゆる
ものをもんのほゆ 衰ゆくくれもんのは
のゆくくもあゆ乃ゆ味方をんゆ高祖
山麓くくもくく波乃巻き者くまけを
仮立て物みを乃と言ゆくくを部をちつ
生ゆくくを投ゆてみゆくくゆ世移ゆ百ゆく
ふれを波ゆゆりゆくいま四ゆ乃運を
ゆゆ出ゆ為江の節遇のゆ中の英とゆ郎ゆくく

合利

九十二

狂言

當寺ゆたくくゆ幻章法天く南無
くくん出家ゆし出家ゆし出家ゆし出家ゆし郎四ゆ乃寺を寺護ゆる
章法天くゆ我ゆなく家ゆ足疫完とゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆゑ浪と深つゝ長刀をかゝ[illegible]豆腐の
紋あるをとれひ湖をきるとく悪鬼を吹かき
賜もらうこゝろもみつゝ前海をきるる
言ふ[illegible]時義仏もちくをく
ちゝ和極ちつゝのんよ[illegible]ちとく言葉
言ふ[illegible]たゝひ[illegible]弁慶を滿てゝ
物わさるゝひるゝまゝと[illegible]珠ひるく空
押とんとく東方海毎南方軍吒利夜
叉西方大威德仏方金剛夜叉明王中央
大小弟動明王の[illegible]ひるく初夏い
ゝるを悪鬼[illegible]を[illegible]
仏方を合を[illegible]れを潤のをみき[illegible]

行船要ハをゝひ苦ゝを逃れひ行夏のを
ゝ塩ゝゆゝれ流をまゝひく泡ゆゝを
ゝをきて海白波をゝ[illegible]

現在鵜　九十四

物早太小　毎夜ゝのゝ印をくまゝる先を
ゝはをく唄人ゝゝ昊たり　ひゝを
を夜もゝく俄小吹くる雨風の音を時
節と泊ゝをゝ　高砂や夕月数
ゝくゝをもゝとゝゝゝ東三條
岩林ゝゝゝも黒雲一面
殿上にすゝる
今ゝく南無八幡大菩薩化せ門

[illegible]

くまたろう　九十五

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤栄　九十九

[illegible]

川岸の[illegible]

[illegible]

[illegible]

濱川　百

[illegible]

[illegible]

[illegible]

船のうたひ

舟橋 百一

三寶の御恵の行ひは五道の罪を消ぬつき
法の力の有難さ　行者の願成就の小行者の願
や徒に三途の河をわたる法の力の舟
橋の御恵の月と成有難や　ありがたや行者
我々の為に此高野の山に
別橋往生の願を立給へ
源兵衛川水底に
なを憂石の苦患　ちまくの底へ沈まや
見我が若宮様の功力をあらはす海

汀潮 百二

所なる花のひとと咲
名残ぶかひ名乗の面影
山風の吹ども散ぬ
あ波のうつる世に惜
ちるめ世に惜ら
て浦の網はまくひろはぬ
ようく海あるとの月
入塩のうちとく人の
沖なる舟かも我をみ
海あこの塩木こりもさく

[illegible]

錦木　百三　石清水の住

[illegible]

[illegible]

[illegible]

墨流のかた

ふゝと上の御所　墨流の厚唐紙

あくまで焼物の鈍こんの

戸障子の鈍こんの長刀指掃しきり

刀のかたち

きれいなる　四海波の模様と木

戸を開のとく切く

百六

西瓜

つるてらのよ井こ開めく行かはさまら世

のゝ行かわにさつよるのくさ名ふ世

西瓜をんなよりもゞく字夜の部等

松軍うきくゞはるのりと馬ら井り

えうすれのを義経うち和らるの納ひ

ぶたまをなるきに鉢ひ的つい鞘を決ちよ

切掛ひ切れふ西瓜の叫りゝとひきうちをる

ゲキ井つめ鉢のきれ抑ものくもとと

くうきいやと弱めきん好うすち縄うち

毎くぶろこいさこ国人をひらせ洗門

のうちまそ八日の部

百七

薩摩川

西海のきこの西薬寺の地を語りくき秋

をま移く　屋中地うくるの米家えの初

を出く洋人宵対ふきる人形の　だ頼

めぎめーう石門ちもきるれ世の中に皆迷

法名　御殿きうに鳴動しくぶうの紙

ふ子厚さ

常法帯

百八

世の中にあれて色ほろよあるそれけるふそ
やあら楽やなりやや神をと数の科ふ
ようむくやの責を叫ぶるやあるる
しの非事や　神を非礼を妻結ひた
水上清や庫鴻の勾ふ　法殿もさう
ふ鳴動て　法神楽の鈴燈の数
和光同塵も叫くやんと弱き行方を
き　我初恋より沈るば秋津洲の正妻
くをかてち八大れ白蛇と現れ元せの冥
闇と守り浅湯の勾ふ　もとゆく契の
与国や常法常の叫ぶとなさ事をする所
ふ泡の今久ふふふや　四の
ひれ浅ゆく道中神のゆめてぬとひ取
ふやく掛ふ契りのびふち常

雑竜田　百九

市木の殊枝のつちにいまさるを叫ふを
さふふとちもく南無帰依仏
本郷は平れ名の乱れたの乱ふこ四もと
きぬ当紀れ　鶏もそふひて忠臣別を
まつ君と守りれ出仲の市ふうたふ人
ちちやふあふふめの四やふ　我ふふ
ふかもふいふまの言の城の稜の霜雪も
あきく　月ふさ新ふふ白ゆ花　そふよ
新ふふの行ふ　和ふも仕ふふふん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

竜虎 百十一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

為帽子折　百十二

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鐘引　百十三

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

志ろほとなくすりかえられぬ波や三井寺の鐘
樓ふりたてまれあるべき物の姿
遠羅竜王を野ふく波つき鐘の音を
切くれぬの冥闇を晴けんとて東方より迎
まて鐘をつき給へ 弦行音楽れ鳴をり 楓
の南方より 芝生滅法 西方に向へ 生滅
々已 北方の四天 寂滅為樂と 作法は
色心耳をもて 諸人則 善提ふ立り 佛法
興隆仏壇無量に守ふ と 弦竜一面の頭を
傾き禮とかきぶ ものくと 四方に竜に新
神 番屬を引はもく 三面の波の内に水ふ
うき 三門ぶ 水ふ流 ん 波 ふ

と 弁の相當門 ふ の色ふ ろ れ林の五高金
時一度 ふ 弦 と 作ふ 平家 ふ 残十
万位清く 時 も れ あ れ ふ ふ
ふ ん せ れ い ほ の ふ れ も 味方 も 同 対
と ふ と 邑 雖 ふ く ち ふ と ふ く 四 ふ
き 有 ふ く 羽 せ れ 八 情 の 社 壇 の 上 ふ 神 大
一 ふ ふ ひ あ ふ ふ 源 氏 の 軍 兵 れ 国 と て ふ
え ふ の 教 と ふ く ふ み ま は 唱 ふ と ふ ま ふ 恵
辱 れ ふ ろ ひ 恵 魔 衆 伏 ま 白 姓 の ふ ふ を
平 泉 の 陣 ふ 射 行 ふ と え ふ ふ ふ 平 家 の 大
敗 ふ ふ れ も ふ あ く 伏 ふ ふ ふ 合 れ 巌 石 れ

上にうまかり唐うさなりく馬のハんがとも
をもまず雲れ走りえや走りをづりあの空
のうへひちれとく七万の金帰さうかうの宮
千寿のみうれともあるく城保とむめうさも

呂后　百十五

天明君の威徳ハ四海あまねく民ひろく

同奥

花ひらける雲南殿の宴上にうかるれう
月ものや雲れうちうもぐくあうをうふ大
島れうまの天船あくれれ命をあふくる恩
吳郡またり　上巳　秋きちくとや物まんとく
市門の宮殿帰うれうれとあくうれ形ひと

汨
二条の内裏の唐紙とあひぶれのうちうち
まくぶれ行ふを寝を敬をむをあふ秋う
たり　「吳を高祖の作とあに辞信部部」て
大忠は若呂后の徳言ハををしく恨を
に弱まり　「上巳　ゆくく恨をを申あをくく恩呂
后の命をうをとをを色ハ天地も
ひるを汗なり　「文帝ハまを天ハうも
く天地の同小行ハうを王作をれむとを塩の御
鈴を掛をうれ呂后をのこみ物をを行ん
をあく雲ハうををを呂后をうををを
をうを毒中ハをうをを呂后をうを
夫人せきの内ハ沈牙の内ハとをの邦

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

深魔

[illegible]

同奥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同奥

[illegible]

地神の則出現さり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
中に出現してぐ魔王まもひ仏の道の
[illegible]
[illegible]
[illegible]
地神も威勢をたらかつこゝを退きゝい者
をんせをり　ニテエ　魔王の面方自在もつき
てく天ふあるれいこゝく神出合ふ界ふ
近ふ地まのそのいはんらく地神も狭
拔をりあを近拂ひ多へば天ふせをらあ

地まのら出して仏前りあ所こ所りゆまり
ゑ〻け玩弱まゆ鈴まかくしてたいさん
中ゑ天神地神ハ新宮と申後しゆ申も
天地ふ風ふをけらくつまも天地おいく
りをあるもふ仏経宮ふをめとあや

新馬天狗　百十八

[illegible]
りゝとひく宮僧ゑ大僧四ったをゑて
雪をふんてこゑ行ゝり雪を踏てゝん
てゆく　雷鼓

同奥

同じ元ゝ
りゝ風の山橋ゝ別ゝ
[illegible]
柳是を鞠るれ奥僧四ゝ者ふ年ふゝ

[illegible]

日奥

[illegible]

日奥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同奥

大地あめをいただきつちに肩たまあをとうまか
をどりをもて何乃ゆめやらんく行ずれし早太教
柱曼に大唐の天竺に首領善界房と我
事まのりあらやいたに出房今更行の
観念をのおせるをもて若作障碍即有一
仏魔境と祝をとりて痛しや歓界のの
ちふせるくをかふ悟りの道も共ま
ゆ魔道のちまとぬるうきう
や雲乃うちをもくく我法をうるを
まもりをかより魔仏ぬすてれ自ふ二
ちりの自性清浮天然をうとたきをふ勅

やうを仕ふ（カケリ　ずれ迦）　聽我弦若得大智恵
ぬもたうをうんまを　上地御者のもうよ
るもくく明王のうまを　敬処弦制多
仰十二天をのく法魔のちうを我合をくこ
ぬををうをりくあ　明王仏をを
却をまぬくをうを仏ふ
山王権現　南にれとこ西ふ松乃尾小神
なを南のの山九神をを吹
行ずれをも地ふ力を作ずゆを乃
八鴉乃浪のたうを
たををうをもをふ仏力神力
ゆををを仏ずまをうを

大會

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初瀬ノ河ノ辺ニ長谷寺ト云フ霊場ノ[illegible]帝釈ノ[illegible]

千日[illegible]術ヲ[illegible]

[illegible]

帝釈此時いろ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]行徳[illegible]
車僧行[illegible]

菩提大狗　百九二

[illegible]
[illegible]
[illegible]

仰り方迄

拾貳之世山小年經て位る大天狗なり。

みきや高根山の方迄に岩石ゝ

まくと尺くらいつゝきもれ出る大天狗ハ

あつる紀のあれもとくに西眼日月まで方迄

ありたる。せんたゝりろもやうもやうむ

きらたゞまん擬迦摩河嘗遠ゞ世界

多郎世界毛千結せんたまりろやう

ぞりやう山。行者の加持力像方迄

ぐゝどもあきせあけ初ゞ岩尾時岩尾

き鳴動くゝ大石なたゝ方へ方へとくこの

とりくきんきくゝ二行よせて役行者ハあり

まれたり。スクミ刈迄ちや我ハ是ゝ日域より童

るまて仏法を守護ゝ先せとまれ間山後

きりゝきくも。方迄大天狗ハ是ゝ方迄ぐゝなを

ゝき三根のりんとまもりきく童

るきありつめ紅日ぢんくまちせ者を

ゝを紅ゝ世まと鬼ゝ世ゝ方迄ゝ

ちりとき紀。行者をつゝとなりゝ約

きりゝ人ゝとりゝて世ちゝす

や神國ゝりゝと仏法ゝ方迄たゝ方へ

やゝりゝ紅ゝ今ゝ悔なゝ仏法を守護

仰とゝつゝ中ゝ結落かゝ紀ゝ高根ゝ者り

かゝりゝゆきはゝうゝとゝくゝきんゝくゝとゝりゝか

ひゝゝひゝうゝゝゝくゝけんゝくゝ紀ゝとゝりゝひ

[illegible]

犀

百木三

川瀬のきしのうつゝ石やくとまち
かねもり　ありあけくるゝや川瀬の面く
俄の水まさりの時のうつゝ石
ぞうをみるに重てをゆくき根をのき
和泉小式部　人数をえらく
はをそなもせんと思ふかをゆく物をれ
そ拾遠さいのゆうをゆくをあやまる寺
[illegible]つき[illegible]とあはれてみり
きり約を犀にたのみて[illegible]の川瀬
をたにのりの[illegible]水をちらにた

[illegible]
[illegible]の[illegible]ゐいやと犀の角引をの
く[illegible]やと[illegible]あをそう　犀を
角[illegible]く角をあ[illegible]
くらんと[illegible]ゐいの[illegible]二[illegible]ふ
きりわりたをあをばんてさ[illegible]あを
[illegible]ふ[illegible]ら[illegible]ちをた[illegible]
き犀をうちゐく天[illegible]あをそうあけ
[illegible]

當麻

百木四

四音[illegible]
あ[illegible]
[illegible]中に[illegible]

精進なり我願ふ所の有時称讃浄土経
[illegible]時ふをこころ寸信心まことの[illegible]
[illegible]安楽の御業界[illegible]
[illegible]
[illegible]

ちやくまくと人聲 り 抜ニテ あく宮殿の古昔
やらぬ法華経をひらきて五道の達をハ天
王記前をかくのり八歳の龍女ハ南方世
界ハ仏せ給へるるがくてんつ多
給へり 深法罪福相過照於十方 倒ハ
浄法界異相三十二 ハハ千種好 用花
厳法界 天人万戴仰 龍神咸恭敬
ゆりかの門法経や北 平等 今此経の徳用
まくぐ天龍八部人興非人皆遠見疫
龍女成仏ばくく讃別 志渡寺とかく 毎
年八月彼岸の勤行 仏法繁昌の果地
小威もこの者張とうとかれ

駿

杉も手物とみるやとて夢の待宵の松蔭
ひれくく出雲崎 なにてとく年をつ あとをいのり
ふの海のうつ塩の海人の子ひ
月を注奥のちりれ海も遠き世ハ共
ゑを御大臣 駿大臣とは 我ゆ 我境の
国の神ハ四とをつのまり紀ノ湾ノ松浦
ハ明月まるあと浦ハ月宮殿の白衣ハ神も
三五夜中の新月ハ也 ちるあ宮ハ白ら
ものの袖 ハとや 桂ノ枝くよ えと紀ノ
ちるハ張ひ 今夢のもとの白河の浪れ あく
西白や曲水ノ盃 うきたくく遊 帝の袖

日尼

こんの昔の事なれば世を思ひのがれ人ととて出
[illegible]
[illegible]
[illegible]

石橋　百九八

月前の幸ありたるかくぞ侍るべ
や。歌の時節もいかゞ成ちとなるつき
柳ゆとうてん門　常楽のみきぐ　牡丹の紀
さきあつひらく　大きんとうの花のもとから
ぶてやきやきやはるんぶりくふくきん門
もとの弱さとく　ゆたりつき枝の卯まろひ
もうなりき柳ゆとうまいるひるあ草
本とのき時なれや　万歳千秋と　年ときめ
高歳千秋とすひ　紀のつく柳ゆ　百ゆとく
ゆとうもれ

白月　百廿九

うの立門いれ　文神紀路門月
雲　柳ゆとうてん　時をもる雨村雪や
琴すん　作りゆ秘曲の西白ちに
ぐ形くめる盃門　碑をすゆいとく形
眺と沈る平也　古稀ふく打言の
とくぬきちとく　頭みを八ちとうて
やうと月とり神ゆ見立華ちに
たくふまとうとく　ゆとうれをもこゆ

桜ゆく　百三十

みゆとうく盃の数をとうとく侍ゆと
く　海の花ゆ　花ちに　花ちに　花ちに　花ちに
水盃とうひゆく　ゆみあゆとう行き

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

酒をいたやくまつよ[illegible]

[illegible]

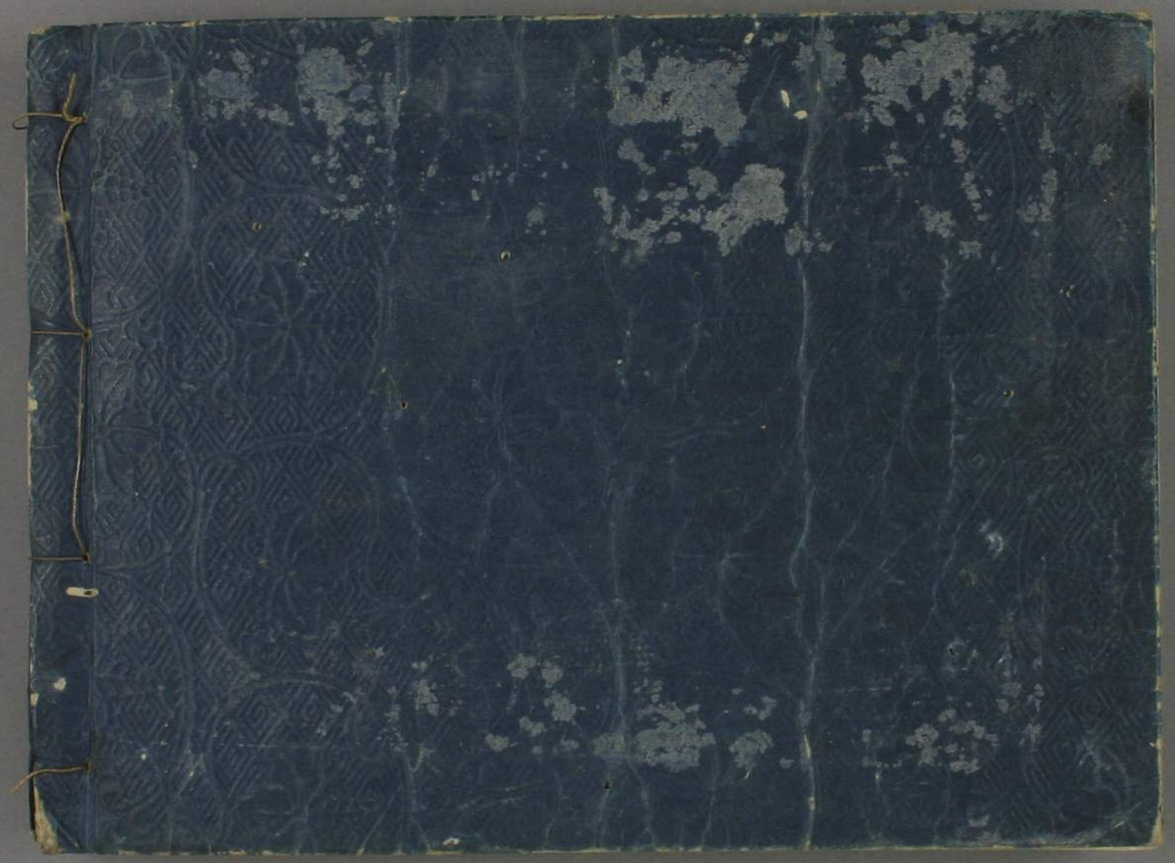
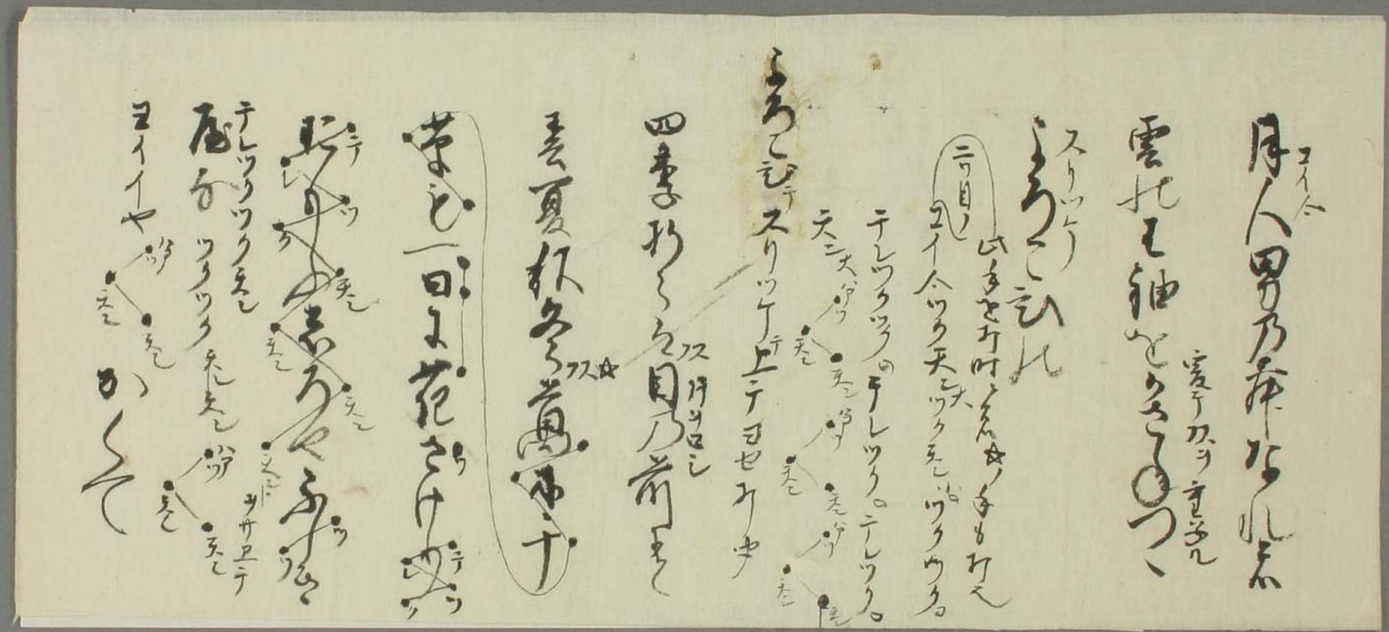
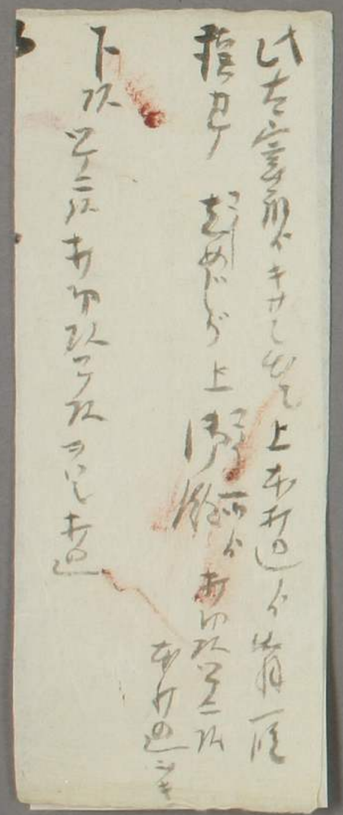
江のうちにたかけを[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

調伏曾我

四つ〳〵をうつを殊勝をとらこぶ師の真言
千手れうこうの眼音をたくあを
東方　仰先ゐ中央ゐ立くあく西を
浮〳〵凡生を守れ大聖不動明王ご
せう〳〵せいをうをもつあらして　五檀の上
小あく〳〵ゐ行へ　護摩焚きけつて　不動
の火焔　之明四つ〳〵として　多紀も行
らたゐ五大言の四面の仏前まあく祈誓
て如の形代を頂く〳〵行ゐあ右〳〵やた
そう〳〵や

寛政四壬子八月